

平成 16 年度事業計画書

特定非営利活動法人 大気イオン地震予測研究会 e-PISCO

1 事業実施の方針

今後、本法人の事業のうち、成立初年度である本年度では大気イオン測定器の研究開発を行い、試作器を完成させる。これを地震発生が予想される地域で試験的に稼働させ、オンラインデータ収集を行うと共に、大気イオンデータでその発生源が推定可能かどうかを検討する。その他、研究会会員には測定情報の配信を行う。

従来の研究データも活用しながら、「大気イオン地震予測法」の基礎をまとめ、その原理と応用のための解説書を発行し、関心を示す学会・研究会・市民サークル等で講演活動を行う。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施予定 日 時	実施予定 場 所	従事者の 予定人数	受益対象者 の範囲及び 予定人数	支 出 見 込 額 (千円)
大気イオン濃 度測定器研究 開発事業	環境大気中のイオン濃度を正確に測定でき、なおかつ一括送信できるシステムの開発	平成16年 春ごろから	岡山理科大学 及び岡山市津島東2丁目2番地9-5号ラモール津島102	10名	大気イオン地震予測研究会 に関心のある者 不特定多数	1,500
全国的な大気 イオン濃度測 定事業	大気イオン濃度測定器を地震発生が予想される地域に設置し測定を行う	平成16年 夏ごろから	大気イオン濃度測定器設置場所(日本全国で20ヶ所設置予定)	100名	大気イオン地震予測研究会 に関心があり協力してくれる 者不特定多数	696
測定データの オンライン収 集・処理・配信 事業	各地の大気イオン測定器データをインターネットで収集し、その測定データと過去のデータから発生源が推定可能であるかの検討およびインターネット上での公開	平成16年 夏ごろから	岡山市津島東2丁目2番地9-5号ラモール津島102	10名	大気イオン地震予測研究会 e-PISCOの会員およびデータ提供を希望する者不特定多数	433

研究成果の普及啓発事業(大気イオン地震予測研究会e-PISCO講演会)	大気イオンと地震との関係についてこれまでの研究成果を発表すると共に、大気イオン測定的重要性を述べ、測定器の普及に努める	平成16年 春ごろから	全国各地	15名	大気イオン地震予測研究会 e-PISCO講演参加者 約100名×12回	1,740
研究成果の普及啓発事業(大気イオン地震予測研究会e-PISCO出版物)	大気イオンと地震前兆現象と地震との関係についてこれまでの成果を著書にする	平成16年 夏	岡山市津島東 2丁目2番地 9-5号ラモール津島102	5名	出版物(約1万部発行予定)の読者不特定多数	1,044